

2019年3月期決算概要

テルモ株式会社

常務執行役員

北畠 一明

2019年5月9日

売上・利益ともに修正業績予想通りの着地

(億円)

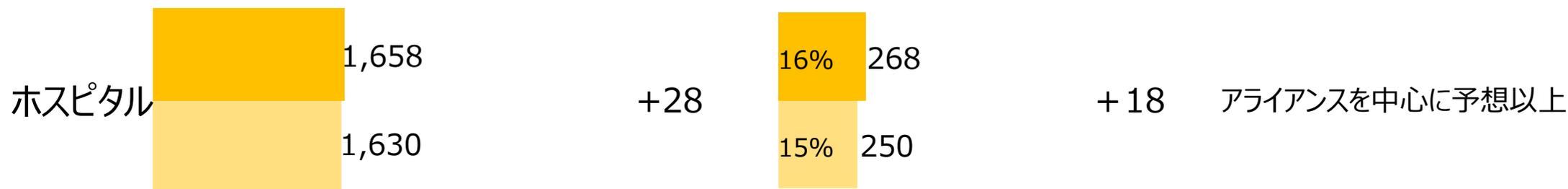
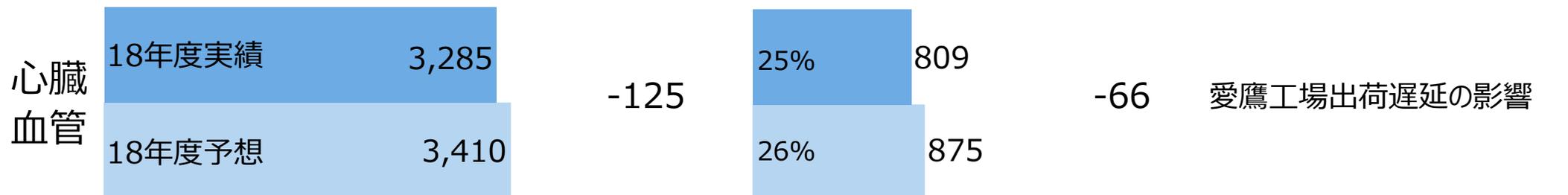
	17年度	18年度	増減率	為替除く 増減率
売上収益	5,878	5,995	+2%	+3%
売上総利益	3,193 (54.3%)	3,265 (54.5%)	+2%	+4%
一般管理費	1,710 (29.1%)	1,787 (29.8%)	+4%	+5%
研究開発費	413 (7.0%)	477 (8.0%)	+15%	+15%
その他収益費用	16	65	-	-
営業利益	1,086 (18.5%)	1,066 (17.8%)	-2%	+2%
調整後営業利益	1,249 (21.3%)	1,221 (20.4%)	-2%	+1%
税引前利益	1,066 (18.1%)	1,027 (17.1%)	-4%	
当期利益	913 (15.5%)	795 (13.3%)	-13%	

期中平均レート	USD	111円	111円
	EUR	130円	128円

- 売上収益 : 愛鷹工場出荷遅延は解消し、全カンパニーがプラス伸長へ
- 調整後営業利益 : 心臓血管の回復に伴い、減益幅がQ3累計と比較し大幅に縮小
- 税引前利益 : 前年度は為替差損5億に対し、今年度は差損が38億に拡大
- 当期利益 : 前年度は米国税制改革による一過性プラス要因(153億)

18年度期初業績予想との比較

売上収益		調整後営業利益		コメント
金額 (億円)	増減額 (億円)	金額 (億円)	増減額 (億円)	



調整後営業利益：調整額

(億円)

	17年度	18年度
営業利益	1,086	1,066
調整① 買収無形資産の償却費	+145	+146
調整② 一時的な損益	+19	(※) +9
調整後営業利益	1,249	1,221

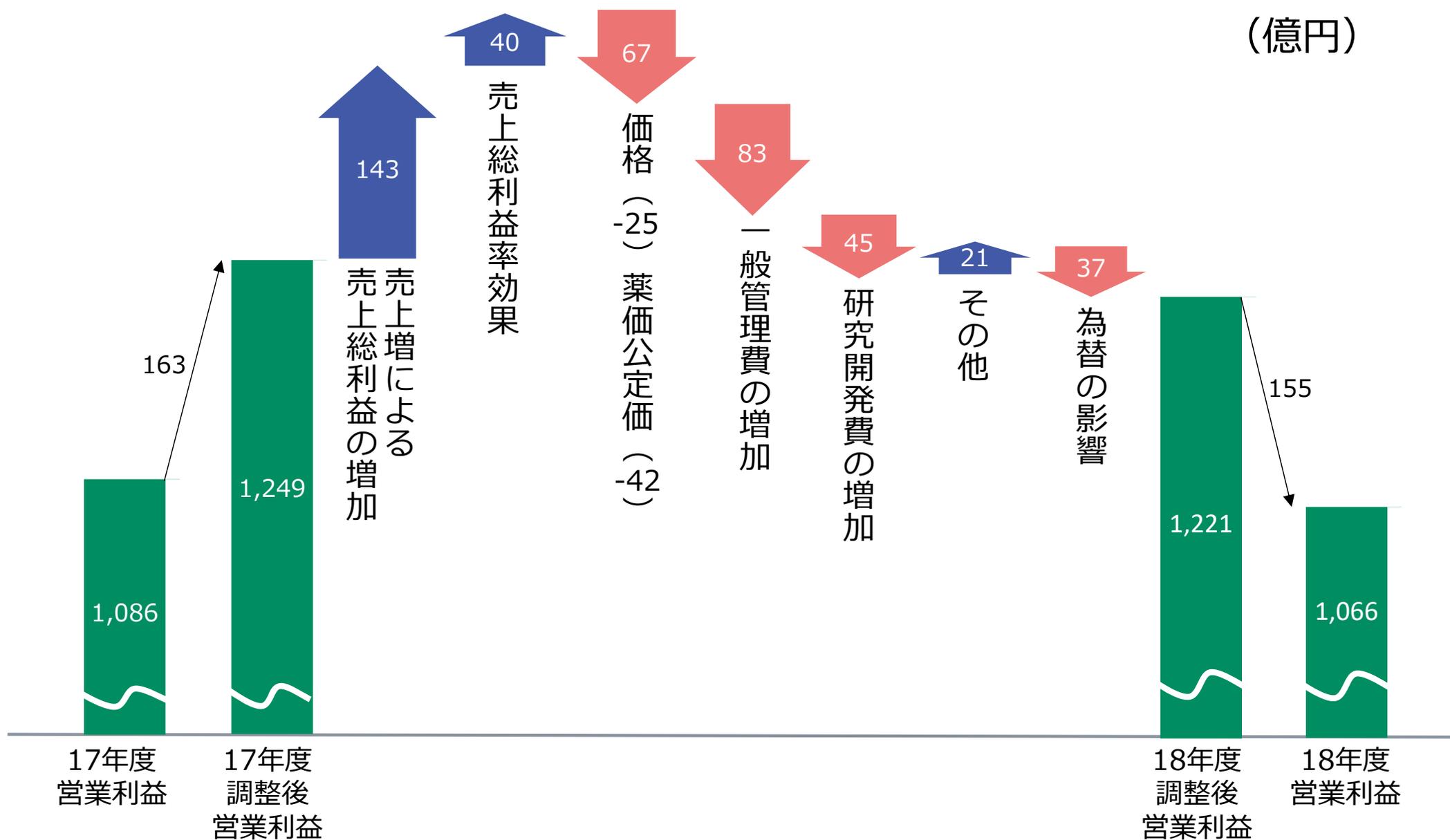
※調整項目

- 買収関連費用
- 訴訟関連損益
- 減損損失
- 事業再編費用
- 損害保険収入
- 災害による損失
- その他一時的な損益

(※) 18年度 調整②「一時的な損益」の主な項目	調整額
ニューロWEB マイルストーン支払い引当計上 (-20)	+20
和解金受取 (+23)	-23
プエルトリコ工場災害保険金受取 (+16)	-16
ベンチャー開発投資除却 (-10)	+10
固定資産除却損等 (-11)	+11
買収アドバイザー費用等 (-7)	+7

調整後営業利益増減分析

(億円)



地域別売上収益

■ 18年度
■ 17年度

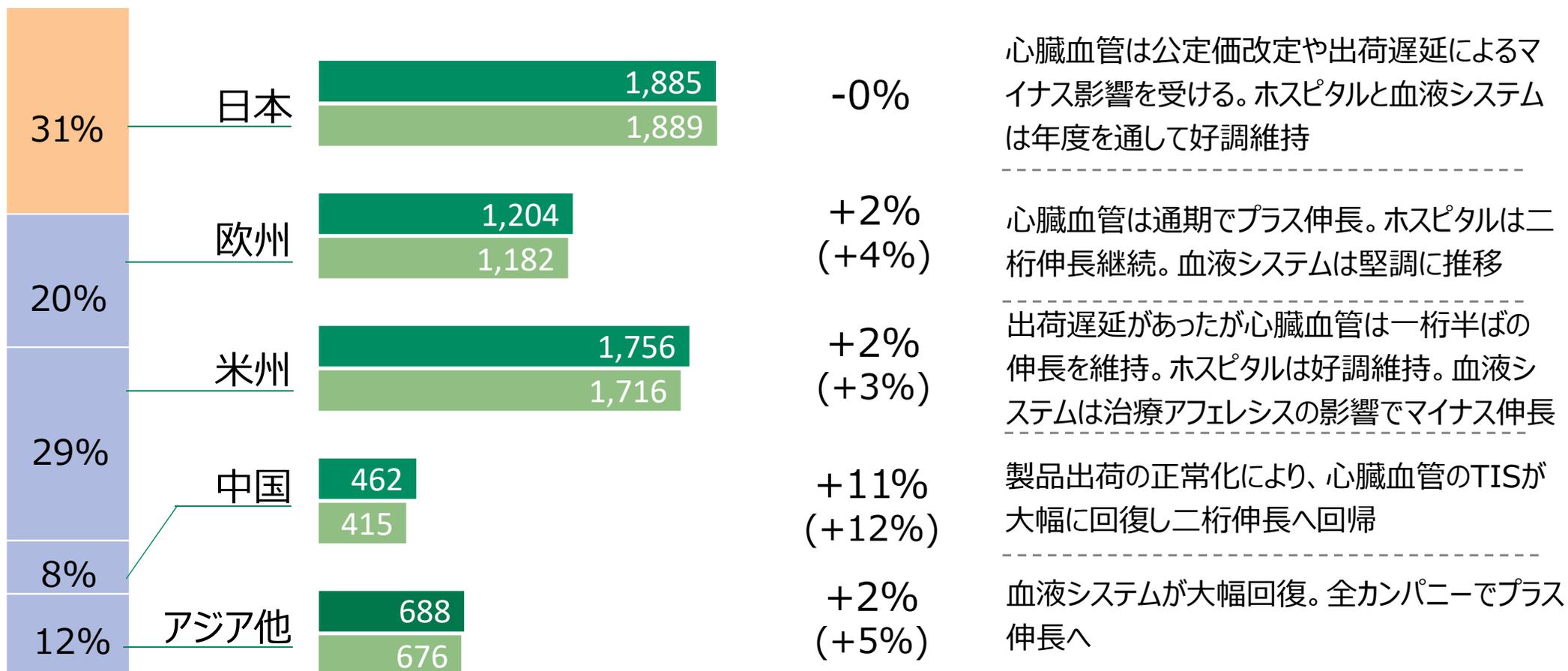
売上収益

100% = 5,995億円

売上収益前年比較

金額(億円)	増減率	コメント
--------	-----	------

() 内は為替影響除く

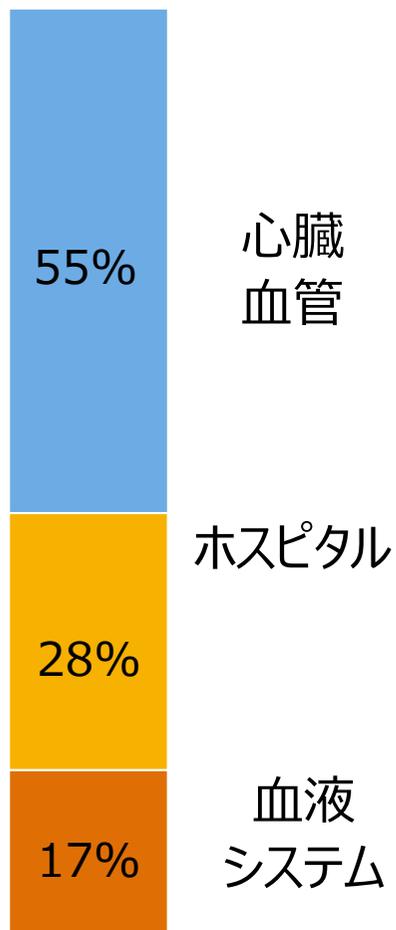


カンパニー別売上収益

■ 18年度
■ 17年度

売上収益

100% = 5,995億円



売上収益前年比較

金額(億円)	増減率	コメント
() 内は為替影響除く		
心臓血管 18年度: 3,285 17年度: 3,240	+1% (+2%)	出荷遅延が正常化し回復基調が継続
ホスピタル 18年度: 1,658 17年度: 1,588	+4% (+5%)	通期で堅調を維持。アライアンスは日本と欧州が牽引し3割伸長を継続
血液システム 18年度: 1,050 17年度: 1,047	+0% (+2%)	血液センター向け製品がグローバルで堅調に推移

心臓血管：出荷遅延の影響を乗り越え増収

(億円)

	17年度	18年度	増減率	主なトピック	金額
() 内は為替影響除く					
売上 収益	3,240	3,285	+1% (+2%)	TIS : 公定価改定や出荷遅延の影響 を乗り越えプラス伸長へ回帰	+2
				ニューロ : 通期で二桁伸長を継続	+47
				CV : 次期血液モニターへの切り替え遅れ	-3
				血管 : 国内ステントグラフトの直販移行準備	-1
調整後 営業 利益 (率)	836 (26%)	809 (25%)	-3% (-1%)	TIS製品における売上収益の回復により、Q3累計と 比較し減益幅が大幅に縮小	

ホスピタル：全事業が売上堅調

(億円)

	17年度	18年度	増減率	主なトピック	金額	
売上収益	1,588	1,658	+4% (+5%)	医療器	+14	
				：国内で輸液ラインに加えポンプや閉鎖式抗がん剤投与システムが牽引		
				医薬品	+11	
				：輸液剤や疼痛緩和が好調。癒着防止材の売上が継続拡大		
				DM・ヘルスケア	0	
DM事業は堅調に推移						
アライアンス	+47					
：日本と欧州が牽引し3割伸長						
調整後営業利益(率)	268 (17%)	268 (16%)	+0% (+0%)	高付加価値製品の伸長が研究開発費増を吸収し増益。山口工場の償却は19年度から本格化		

() 内は為替影響除く

血液システム：売上堅調、利益はプラス伸長へ回復

(億円)

	17年度	18年度	増減率	主なトピック	金額
() 内は為替影響除く					
売上 収益	1,047	1,050	+0% (+2%)	血液センター : 血液自動製剤システムなどの 牽引によりグローバルで堅調 アフレス治療 : 昨年度の特需の影響を受け マイナス伸長	+28 -26
調整後 営業 利益 (率)	151 (14%)	157 (15%)	+4% (+13%)	予定通り米政府からの研究開発助成金が Q4にあり増益へ	

18年度 主なトピックス

全社

- サテライトオフィス開設、ウェアラブル端末配布など、働き方改革と健康経営を推進
- 5年連続「健康経営銘柄」に選定(2月)
- 5製品がグッドデザイン賞を受賞。テルモとして23年連続の受賞(10月)

事業

- 薬剤溶出型ステント「Ultimaster Tansei」、欧州発売(5月)、日本発売(9月)
- 米デクスコム社より、持続血糖測定器の日本・独占販売権取得(5月)、発売(2月)
- アライアンス事業のPFS生産設備増設を決定：テルモ山口D&Dで約70億円(7月)
- 受託製造している薬剤充填用注射器「PLAJEX」採用のバイオシミラー、欧州導入(12月)
- 脳動脈瘤治療用の袋状塞栓デバイス「WEB」、米FDA承認取得(12月)
- 薬剤溶出型ステント専門メーカー中国エッセン・テクノロジー社を買収(12月)
- TIS生産体制強化の為、ベトナム工場新棟建設に向けた150億円の投資決定(2月)

18年度パイプライン製品のローンチ状況

領域	製品	地域	ローンチ
アクセス	ディスタラジアル用止血デバイス	日	FY19
心臓	PTCAバルーン	米	済み
	PTCAバルーン	日	済み
		欧亜	FY19
	DES (Ultimaster Tansei)	日欧亜	済み
ペリ フェラル	ステント (TRI)	日米	FY19
	PTAバルーン (TRI)	日米	済み
	PTAガイドングシース (TRI)	日米	済み
	薬剤塗布バルーン	欧	FY19
脳	中間カテーテル (Sofia EX)	欧米	FY19上期
	ミニ・バルーン	欧米	FY19上期

領域	製品	地域	ローンチ
CV	次世代人工肺	欧米	済み
		日	FY19
	次期血液モニター	欧米亜	済み
血管	胸部用ステントグラフト (低プロファイル)	欧	済み
		欧	済み
医療器	静脈可視装置	日	済み
DM	パッチ式インスリンポンプ	日	FY19上期
血液	次期成分採血装置ソフトウェア	欧米亜	済み
		欧米亜	済み

19年度業績予想

(億円)

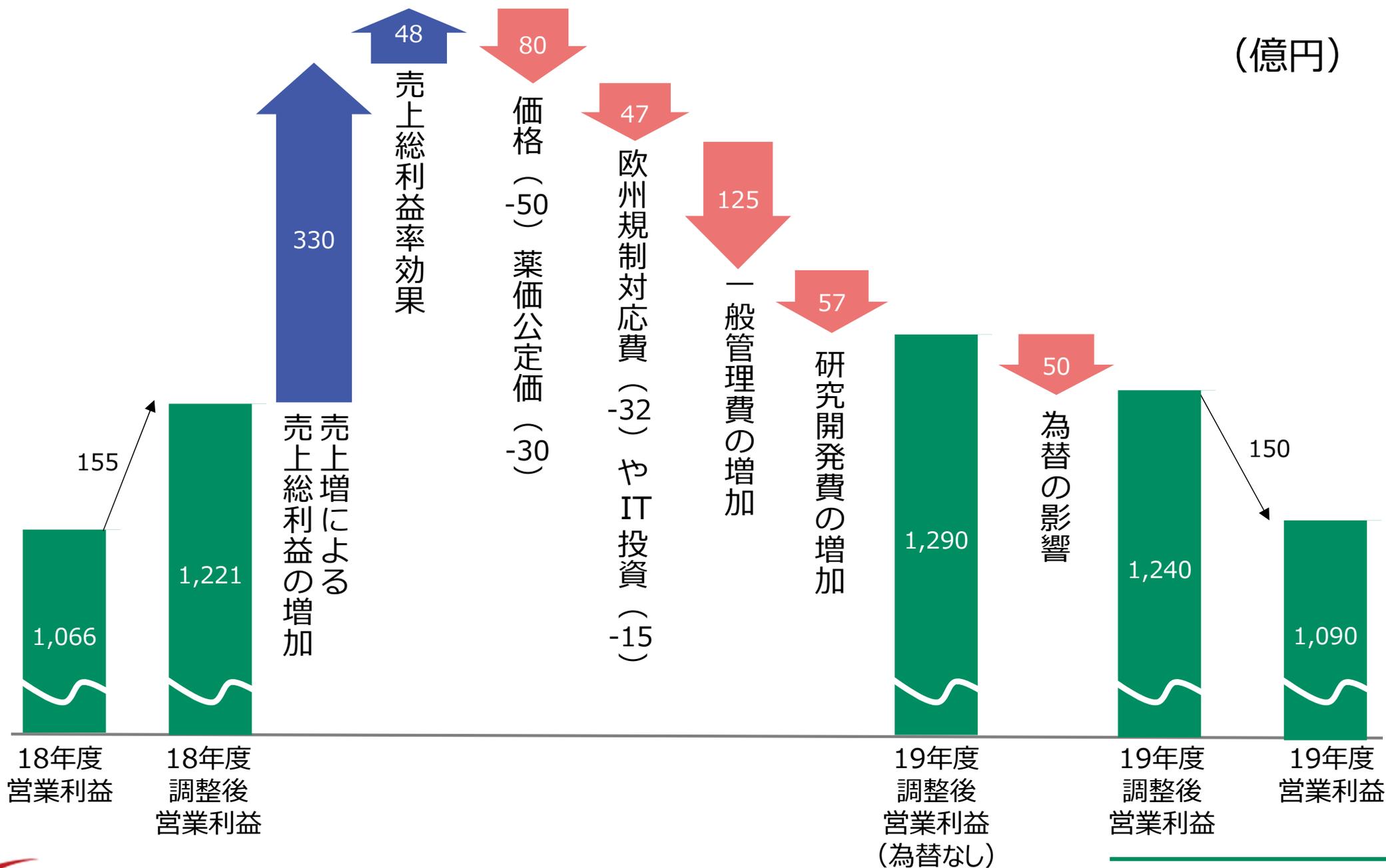
	18年度 実績	19年度 業績予想	増減率 (為替除く増減率)	16~19年度 CAGR
売上収益	5,995	6,350	+6% (+8%)	+7%
営業利益 (率)	1,066 (17.8%)	1,090 (17.2%)	+2% (+7%)	+7%
調整後営業利益 (率)	1,221 (20.4%)	1,240 (19.5%)	+2% (+6%)	+6%
当期利益	795	810	+2%	+14%

為替レート

USD	111円	108円
EUR	128円	123円

業績予想 調整後営業利益

(億円)

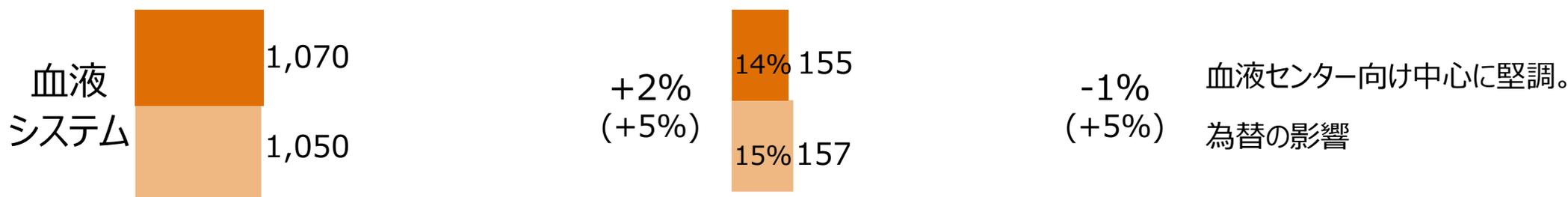
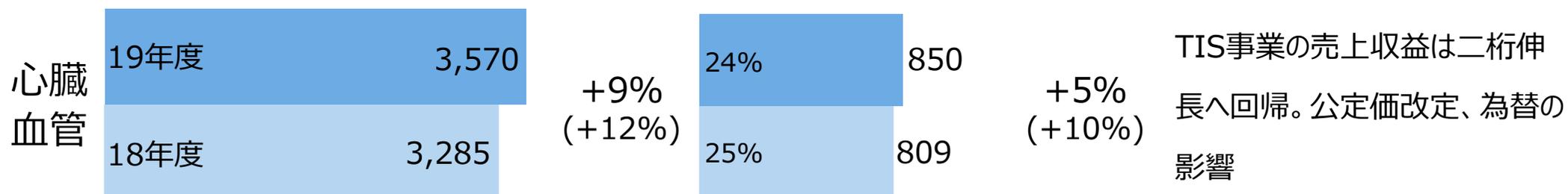


19年度業績予想

売上収益		調整後営業利益		コメント
金額 (億円)	増減率	金額 (億円)	増減率	

() 内は為替影響除く

() 内は為替影響除く



19年度パイプライン製品

領域	製品	地域	領域	製品	地域
アクセス	ディスタラジアル用止血デバイス	日	医療器	次期シリンジポンプ	日
心臓	PTCAバルーン	欧亜	医薬品	麻酔用鎮痛剤（フェンタニル注射液）	日
ペリフェラル	ステント（TRI）	日米		癒着防止材（アドスプレー・ミニ）	日
脳	袋状塞栓デバイス（WEB）	米	DM・ヘルスケア	持続血糖測定器	日
	中間カテーテル（Sofia EX）	欧米		血糖測定システム	日
	ミニ・バルーン	欧米		パッチ式インスリンポンプ	日
	血栓吸引カテーテル	日		次期血圧計	日
	ステントリーバー	日		次期体温計	日
CV	次世代人工肺	日	血液	細胞治療用充填・仕上げシステム（FINIA）	グローバル
	人工心肺装置(再出荷)	日			
血管	大口径人工血管（トリプレックス・アドバンスド）	日			

18年度期末配当案は27円

- 安定的に配当を増やし、中長期的に配当性向30%を目指す
- 18年度年間は54円（当初予想から変更なし）
- 19年度は年間28円（株式分割前換算56円）とし増配維持

() 内は株式分割前換算の値

	18年度 実績	19年度 予想
当期利益（億円）	795	810
EPS（円）	217	109 (218)

配当案/株	54.0円 中間27.0 期末 27.0	28.0円 (56.0) 中間14.0 (28.0) 期末14.0 (28.0)
配当性向	24.8%	25.7%

参考資料

事業別・地域別売上収益と伸長率

(億円)

事業 セグメント	日本	海外					合計
		計	欧州	米州	中国	アジア	
心臓血管	478 (-11%)	2,807 (+5%)	849 (+3%)	1,249 (+5%)	382 (+14%)	327 (+4%)	3,285 (+2%)
うちカテーテル※	359 (-12%)	2,276 (+6%)	681 (+3%)	966 (+6%)	357 (+14%)	272 (+4%)	2,635 (+3%)
ホスピタル	1,279 (+4%)	379 (+6%)	95 (+11%)	86 (+8%)	27 (+17%)	172 (+2%)	1,658 (+5%)
血液システム	125 (+5%)	924 (+2%)	260 (+5%)	422 (-2%)	53 (+2%)	189 (+9%)	1,050 (+2%)
合計	1,885 (-0%)	4,110 (+5%)	1,204 (+4%)	1,756 (+3%)	462 (+12%)	688 (+5%)	5,995 (+3%)

※ TIS事業とニューロバスキュラー事業の合計

() 内は為替影響除く前年比伸長率

販管費

(億円)

	17年度	18年度	増減	増減率	為替除く 増減率
人件費	844	874	+30	+4%	+4%
販促費	178	182	+4	+2%	+3%
物流費	126	136	+10	+8%	+9%
償却費	137	143	+6	+4%	+5%
その他	425	451	+26	+6%	+7%
一般管理費計	1,710 (29.1%)	1,787 (29.8%)	+76	+4%	+5%
研究開発費	413 (7.0%)	477 (8.0%)	+63	+15%	+15%
販管費合計	2,124 (36.1%)	2,263 (37.9%)	+140	+7%	+7%

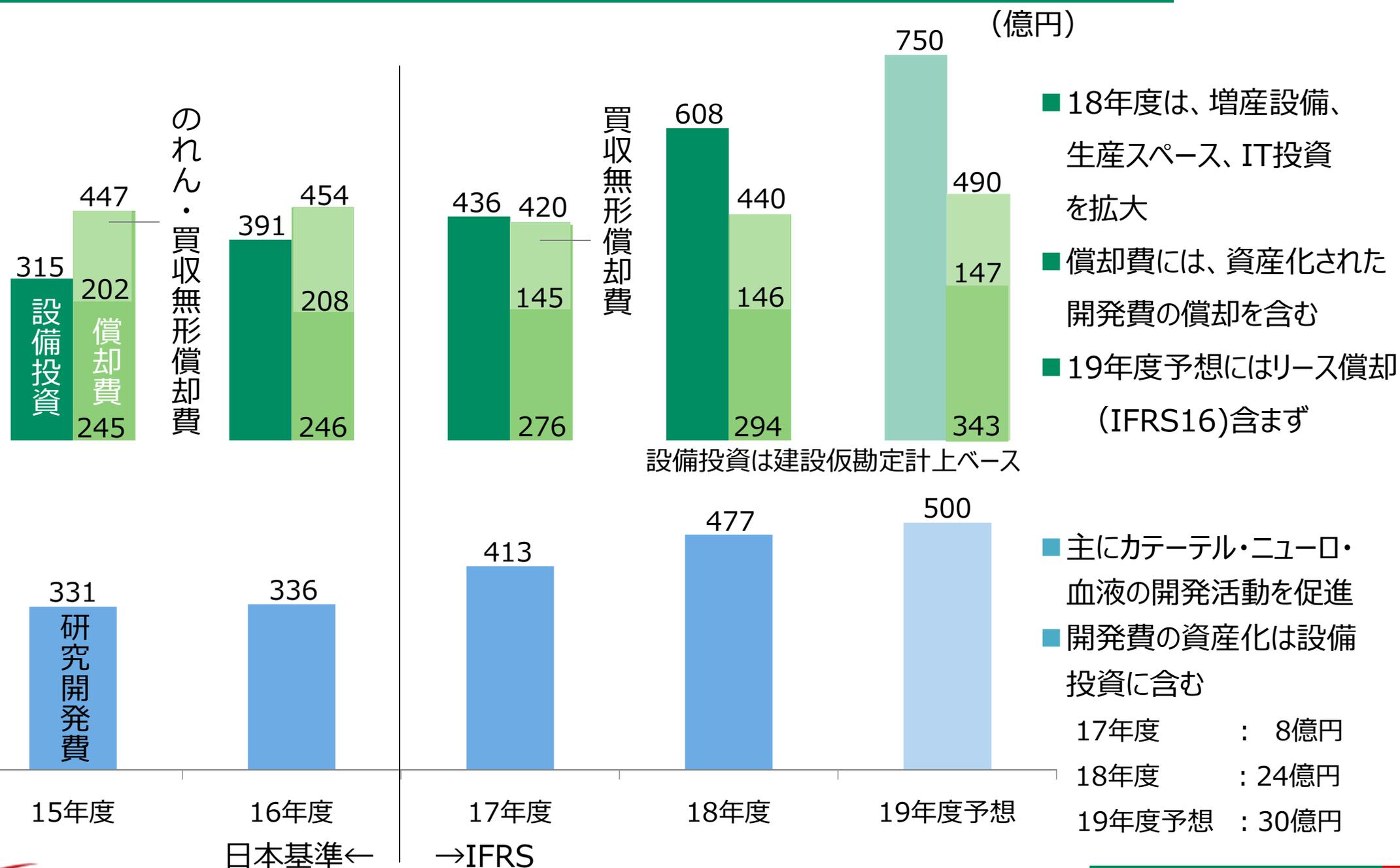
四半期の動き

(億円)

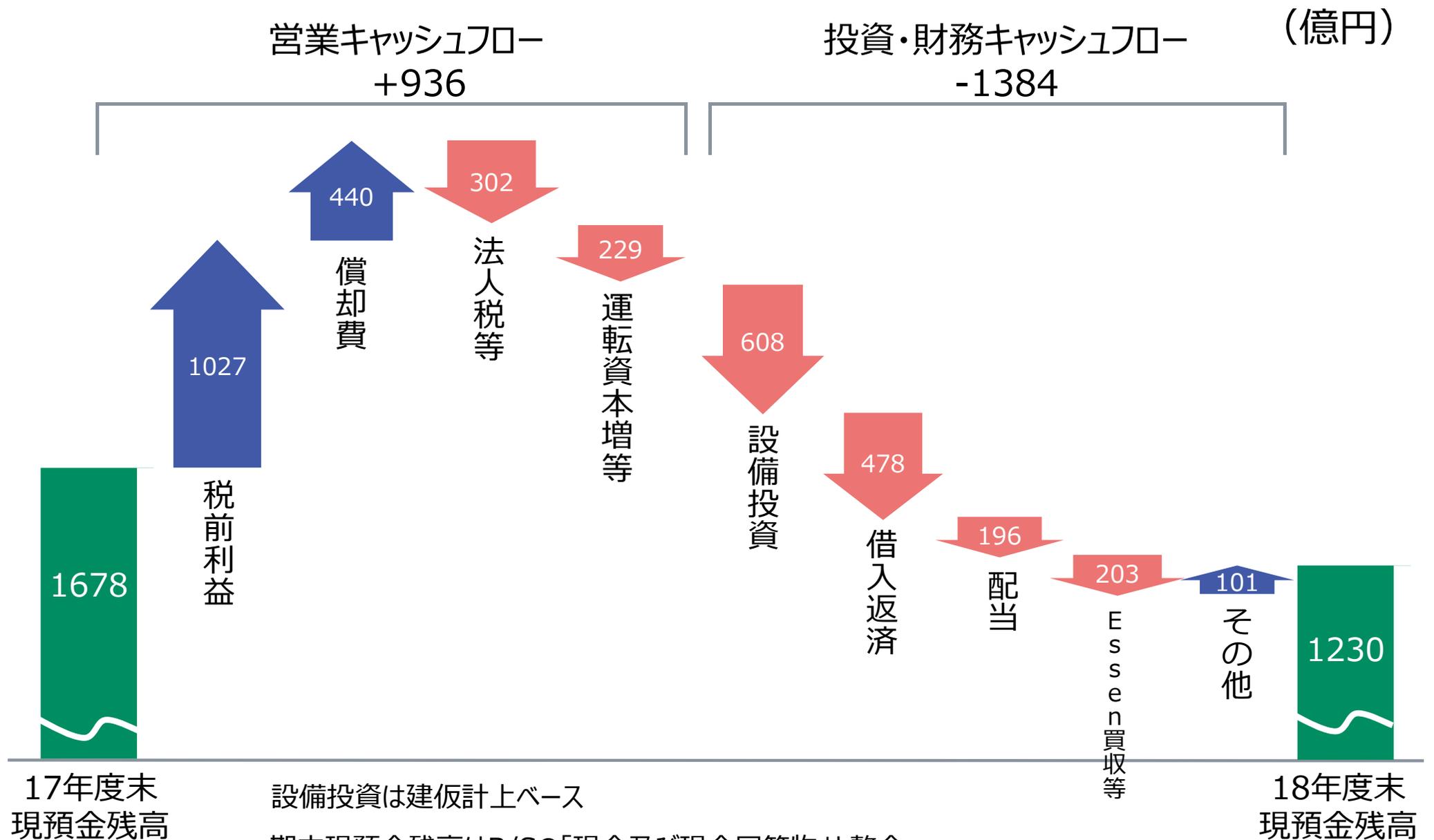
	17年度Q4 (1-3月)	18年度Q1 (4-6月)	Q2 (7-9月)	Q3 (10-12月)	Q4 (1-3月)
売上収益	1,508	1,430	1,420	1,586	1,559
売上総利益	807 (53.5%)	799 (55.8%)	747 (52.6%)	876 (55.2%)	843 (54.1%)
一般管理費	459 (30.4%)	435 (30.4%)	435 (30.5%)	450 (28.4%)	467 (29.9%)
研究開発費	124 (8.2%)	113 (7.9%)	124 (8.8%)	123 (7.7%)	116 (7.5%)
その他収益費用	- 4	8	29	6	21
営業利益	220 (14.6%)	259 (18.1%)	217 (15.3%)	309 (19.5%)	282 (18.1%)
調整後営業利益	274 (18.1%)	305 (21.4%)	248 (17.4%)	359 (22.6%)	309 (19.9%)

四半期	USD	108円	109円	111円	113円	110円
平均レート	EUR	133円	130円	130円	129円	125円

設備投資と研究開発費



18年度キャッシュフロー



為替感応度

1円の円安に対しての年間影響額 (億円)

	USD	EUR	人民元
売上収益	17	8	22
調整後営業利益	0	5	12

<参考> 10%円安に動いた時のインパクト

	北米	中南米	欧州		アジア	
			ユーロ圏	その他	人民元	その他
調整後営業利益	-1	10	65	13	19	36

転換社債の状況

■ 社債明細 (2014年12月起債)

※2019年4月に実施した株式分割考慮

満期	発行額 (億円)	金利	転換価格 (円)	転換制限 価格 (円)	転換の場合 必要となる株数
2019年12月	500	0.0%	1,927円	2,505円	約26百万株
2021年12月	500	0.0%	1,927円	2,505円	約26百万株
計	1,000				約52百万株

■ 転換状況 (2019年4月30日時点)

対象社債	転換行使額 (対象社債総額比)	交付株数 (発行済株式総数比)
2019年12月満期	500.0億円 (100.0%)	25.9百万株 (3.4%)
2021年12月満期	252.1億円 (50.4%)	13.1百万株 (1.7%)
計	752.1億円 (75.2%)	39.0百万株 (5.1%)

➤ 転換行使による株式交付は自己株式を充当

・自己株式の状況： 16.4百万株 (2019年4月末時点、取得単価1,949円、発行済総数比2.2%)

おことわり

テルモの開示資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。様々な要因により、実際の業績等が変動する可能性があることをご承知おきください。実際の業績に影響を与えうる重要な要素には、テルモの事業領域を取り巻く経済情勢、為替レートの変動、競争状況などがあります。